

## 農林業センターで試験栽培開始

5月20日、町農林業センターにてオリーブの苗木の植栽式が開催され、鈴木町長をはじめ関係者約30人が出席しました。

この栽培試験は、オリーブが自然薯やゆずなどと同様に茶との複合作物として町内での栽培に適しているかを探ることを目的としています。町は、オリーブの栽培技術や販売力を有する(株)クリアファーム(静岡市)と協定を締結し、同社による苗木の提供と技術指導を受けながら栽培管理を進めます。

今回同センターに植栽した4種類・40本の苗木に続いて、来年度には北部地域にも2種類・40本を植栽する予定です。それぞれ数年をかけて、合計6種類の中からの地域に適した品種を分析し、栽培希望者に示すことができる参考基準づくりを目指します。

## Voice 「良質な果実のために、入念な分析と選定を」

この試験栽培を通して、農家の皆さんにオリーブという新たな農作物の選択肢をご提案できればと思っています。

そのためには、決して場当たり的な手法ではなく、きちんと苗木の選定や栽培技術に時間と労力をかけて、良質で他地域との差別化が図られたオリーブが生産できるように準備していく必要があります。

また今回のオリーブだけでなく、茶を含めた町内のさまざまな農産物の販路拡大や情報発信にも寄与していきたいと考えています。



(株)クリアファーム  
西村 やす子 代表取締役社長

## Close Up 「高まる国産オリーブの需要」

地中海地方が原産とされるオリーブは、国内での生産量は少なく、国内市場における国産のシェア率は0.1%以下とされています。一方で、食用油や化粧品などへの加工原料として国内外における国産オリーブの需要は高まっており、各地で試験栽培が始まっています。同社では、すでに静岡市駿河区の日本平に植栽したオリーブの採油・加工・販売を実施し、農業の「6次産業化」に取り組んでいます。(写真はいずれも日本平農園の様子)



▲約5年で人の背丈よりも高くなる

▼11月ごろに2～4つの実がなる

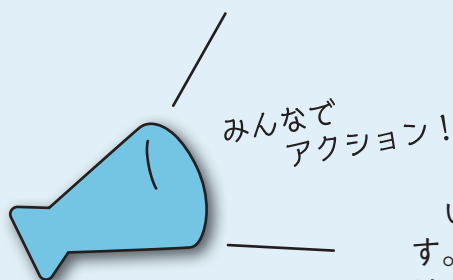


【問】産業課・農業室 ☎ (56) 2226

# 「オリーブ」の可能性を探る



# 「ちょいエコ」&「クールシェア」で 無理なく快適な夏へ



いよいよ夏本番。冷房などの使用で電力消費が多くなる季節です。電力の無駄遣いを省くことは、地球温暖化防止の一助となるだけでなく、各家庭の家計においても大きなメリットとなります。

しかし、近年の猛暑のように非常に気温が高い場合は、冷房の控え過ぎなどの過度な節電対策は危険です。そこで、無理なく取り組むことができる節電の方法として「ちょいエコ」と「クールシェア」をご紹介します。

【問】企画課・環境室 ☎ (56) 2221

## ちょいエコ

「ちょいエコ」とは・・・  
「ちょこっと」 + 「エコロジー(環境に配慮すること)」

実践! 10 の「ちょいエコ」		節電効果 (削減率)
エアコン	① 室温28℃を心がける。(設定温度を2℃上げた場合)	10%
	② “すだれ”や“よしず”、「緑のカーテン」などで窓からの日差しを和らげる。(エアコンの節電になります。)	10%
	③ 無理のない範囲でエアコンを消し、扇風機を使用する。※除湿運転やエアコンの頻繁なオンオフは電力の増加になる場合があるため注意が必要です。	50%
冷蔵庫	④ 冷蔵庫の設定を「強」から「中」に変え、扉を開ける時間をできるだけ減らし、食品を詰め込みすぎないようにする。※食品の傷みにご注意ください。	2%
照明	⑤ 日中は不要な照明を消す。	5%
テレビ	⑥ 省エネモードに設定するとともに、画面の輝度を下げ、必要な時以外は消す。 ※標準→省エネモードに設定し、使用時間を3/5に減らした場合	2%
温水洗浄便座	⑦ 温水のオフ機能、タイマー節電機能を利用する。	どちらかで 1%未満
	⑧ 上記の機能がない場合、使わない時はコンセントからプラグを抜く。	
ジャー炊飯器	⑨ 朝にタイマー機能で1日分まとめて炊いて、冷蔵庫や冷凍庫に保存する。	2%
待機電力	⑩ リモコンの電源ではなく、本体の主電源を切る。長時間使わない機器はコンセントからプラグを抜く。	2%

## クールシェア

「クールシェア」とは・・・  
「涼しい場所や空間をみんなで共有すること」

### ◎ご家庭で

家族がそれぞれ別の部屋でエアコンを使用せず、みんな同じ部屋に集まってみる。

### ◎ご近所で

お互いの家を訪問し合ってみる。  
誘い合わせて涼しい場所へ出掛けてみる。

そのほか、図書室や本川根B & G 海洋センターの屋内プールなどの公共施設を積極的に利用することも手法のひとつです。

役場では  
緑のカーテンを  
始めました!

